

あけましておめでとうございます

令和3年、2021年がスタートしました。昨年は予想外のコロナに振り回された1年となってしまいました。まだ、収束には至っていませんが、今年が良い年になることを切に願います。しばらくというか、当分の間、コロナが収束・終息するまで、コロナ感染防止に気を使いながら安全に園生活が送られるよう努めていきます。



さて、今年はというと、亥（いのしし）からバトンをもらった丑（うし）がランナーの年。

昨年延期になったオリンピックが今のところ開催予定の年。

コロナワクチンが今のところ日本でも広まる予定の年。

私が応援する某野球チームが日本一になる予定の年。

「おはようございます」が言えなかった園児が、「おはようございます」を言えるようになる年。

「おはようございます」の声が小さかった園児が、大きな声で「おはようございます」を言えるようになる年。

自分で着替えができなかった園児が、自分で着替えができるようになる年。

給食を残していた園児が、残さなくなる年。

トイレのスリッパをきちんと並べられなかった園児が、きちんと並べられる年。

友達と仲良く遊べなかった園児が、仲良く遊べる年。

そして、何よりわくわく・嬉しいのは、待ち望んでいるのは、さくら組の園児が、4月から小学校に入る年ということではないでしょうか。親御さんよりも園長よりも、当の本人が「今年は小学校に入る年」と、一番喜ぶ年ではないでしょうか。そして、次に続く園児たちも、「あと1年」とカウントダウンを始める年ではないでしょうか。

そして、良きにつけ悪きにつけ、ほとんどの(?)園児たちが、小学校に入って思ったり、つぶやいたりするセリフがあります。それは、「幼稚園の方がよかったよな～」

でも、しばらくすると、その子どもたちも、幼稚園のことはすっかり忘れて小学校生活に没頭し、小学校生活を満喫するのです。

そして、中学校に入るとき、高校に入るとき、大学に入るとき、社会人になるとき、歴史は繰り返されると思っているのは私だけでしょうか？

誤解のないようにまとめますと、どの時代もみんなよかったです。もちろん、つらいこと、悲しいこと、悔しいこともありましたが、思い出としては、楽しかったこと、よかったことの方が、多く思い出されます。つらかったこと、悲しかったこと、悔しかったことも、思い出になると、なぜかよかったことの一つになってしまうのが不思議なのですが、それはそれでよいと思っています。

去年の生活発表会のダンスに「ひょっこりひょうたん島」がありました。私が小さかった頃、ほとんどの子どもたちが視ていた人形劇のテレビ番組でした。一つの流れる島に、学校があり生徒がいて先生もいて、大統領がいて、元ギャングがいて、……。みんなとても個性的なキャラクターで、みんな愛すべきキャラクターで、みんな輝くキャラクターでした。主人公は、みんな、一人一人が主人公で、完璧なキャラクターはいなく、その完璧でないところが愛すべき点として描かれていました。小さなひょうたん島でしたが、次々といろいろな困難、問題、アクシデント、トラブルが起こります。それに立ち向かうのは、「力を合わせるみんな」でした。みんなの力が一つになった時……。♪ 苦しいこともあるだろさ 悲しいこともあるだろさ だけど僕らはくじげない 泣くのはいやだ笑っちゃおう すすめー ひょっこりひょうたん島 ひょっこりひょうたん島 ♪ 2021年 並木幼稚園も力を合わせて進みます!!